

参加費
無料

デザイン思考プロセスを用いた 支援機器開発ワークショップ

申込み締め切り: 2021/11/12(金)まで延長

支援(福祉)機器は、生活面で支援が必要な障害者だけでなく、支援者側を含めたさまざまな人が使用します。リハビリテーションロボットや介護ロボットなど、近年の支援機器開発は目覚ましい発展を遂げています。しかし、製品が上市に至るには、優れたシーズであるだけでなく、製品化ニーズ、臨床ニーズとの合致に加え、安全性・有効性、事業性など、さまざまな要件を備えなければなりません。

本ワークショップでは、スタンフォード大学発の医療機器開発に特化したバイオデザインプロセスを支援機器に応用し、初期の段階から事業化を見据えた製品の開発方法について学びます。

日時

2021年10月9日

土

13:30~14:30

定員 40 名

第1部

(セミナー) バイオデザイン手法の紹介

会場

オンライン(開催)

日時

2021年12月8日

水

14:00~17:00

定員 15 名

第2部

(ワークショップ)

バイオデザイン手法を応用した
支援機器開発手法を学ぶ

会場

東京都立産業貿易センター浜松町館
2階展示室

(東京都港区海岸1丁目7-1)

* コロナ感染拡大状況によりオンライン開催に変更する場合がございます。

講師

原 陽介 (医師)

(株式会社ライフトゥディ 代表取締役)
(ジャパンバイオデザイン
アシスタントファカルティ)



柿花 隆昭 (理学療法士)

(東京大学医学部附属病院
心臓外科特任研究員)



* 本ワークショップは、厚生労働科学研究費(障害者政策総合研究事業)「障害者の支援機器に携わる医療・福祉・工学分野の人材育成モデル構築に資する研究」の一部として実施されます。そのため、ワークショップ前後にアンケート等にご協力いただける方を対象とさせていただきます。尚、アンケート結果は本研究成果として倫理規定に則り発表する可能性がありますので、同意いただける方を対象とさせていただきます。

お問い合わせ・お申込み

【問い合わせ先】

茨城県立医療大学 浅川育世(E-mail: asakaway@ipu.ac.jp)

【お申込先】下記URL、もしくはQRコードから必要事項をご記入の上、お申し込みください。

<https://forms.gle/8HHWqSoKbtWLnkh7A>

* 第2部のみの申し込みはできませんのでご注意ください。10/1以降に、東京会場第2部(ワークショップ)お申し込みの方には、第1部(セミナー)は別途個別にご対応を検討させていただきます。

* 申込者が多数の場合は抽選等になり、受講できないことがありますのでご了承ください。受講者には、後日、別途メールでご連絡いたします。

